



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,576	17.3	522	—	461	—	289	—
2022年3月期第3四半期	16,682	—	43	—	△24	—	△25	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,152百万円 (257.1%) 2022年3月期第3四半期 322百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	88.24	—
2022年3月期第3四半期	△7.79	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	33,214	15,159	35.3	3,581.56
2022年3月期	31,247	13,783	35.3	3,329.99

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,711百万円 2022年3月期 11,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,600	15.1	670	334.0	570	536.1	360	723.1	109.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,362,163株	2022年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	92,287株	2022年3月期	47,963株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	3,283,169株	2022年3月期3Q	3,314,309株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど、経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、急速な円安進行や、原材料・原油価格の高騰による物価上昇圧力が高まる等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『C&Eへのこだわり』をキーワードに、①脱炭素社会に向けて、②DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、③人材育成、の3点を重点課題に設定した第7次3カ年計画(2022~2024年度)を新たにスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格は正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 195億7千6百万円(前年同期比 17.3%増)、営業利益 5億2千2百万円(前年同期 営業利益4千3百万円)、経常利益 4億6千1百万円(前年同期 経常損失2千4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2億8千9百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失2千5百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、鍛鋼用鋳型の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび国内電炉メーカーの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内において新規開発車種の減少がみられたものの、国内カーメーカーの受注が堅調に推移し、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械、鍛圧機および発電用減速機向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋や機械鋳物で価格是正もあり収益を確保しましたが、土木用鋳物の受注が低迷し、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスバーは、主要顧客先の部品調達難により需要が減少しましたが、価格是正による収益確保に努め、売上高は、前年同期を上回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車産業の堅調な推移と円安効果により、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、167億8千7百万円(前年同期比 19.8%増)、セグメント利益 4億9千3百万円(前年同期 セグメント利益2千5百万円)となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、保守・メンテナンス工事の受注が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。送風機は、民間設備投資が堅調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスバクターは、半導体向けが好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、20億1千9百万円(前年同期比 4.6%増)、セグメント利益 4千2百万円(前年同期比 16.6%減)となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、鉄道用および産業用摩擦材が堅調に推移しましたが、自動車向け摩擦材の需要が低迷し、売上高は、前年同期並みで推移しました。

この結果、当事業の売上高は、7億5千1百万円(前年同期比 5.1%増)、セグメント利益 4千5百万円(前年同期比 111.2%増)となりました。

なお、2022年1月28日に公表しました通り、KCカーボンセラミックス事業は、2022年10月3日付をもちまして、株式会社TYKグループの明智セラミックス株式会社に譲渡しましたので、あらためてお知らせいたします。

④ その他の事業

当事業の売上高は、1千8百万円(前年同期比 1.3%減)、セグメント損失 0百万円(前年同期 セグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、206億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億2百万円増加いたしました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が12億9千6百万円増加したことなどによります。

固定資産は、125億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億6千5百万円増加いたしました。これは、主として投資その他の資産が1億7千4百万円、有形固定資産が1億6千万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、332億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億6千7百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、150億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千2百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が14億4百万円増加したことなどによります。

固定負債は、30億2千万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千万円減少いたしました。これは、主として長期借入金5億9千8百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、180億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、151億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億7千5百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は35.3%（前連結会計年度末は35.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、原材料高騰への対応として、グループ全社をあげた製品の販売価格是正ならびにコスト改善の推進により、利益が当初の予想を上回る見通しであるため、前回発表予想から上方修正しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,123	2,315
受取手形、売掛金及び契約資産	9,670	10,966
電子記録債権	2,524	2,564
商品及び製品	1,177	1,537
仕掛品	1,232	1,521
原材料及び貯蔵品	1,248	1,618
その他	109	164
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,085	20,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,968	3,097
機械装置及び運搬具(純額)	4,229	4,253
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,425	1,433
有形固定資産合計	9,844	10,005
無形固定資産	255	285
投資その他の資産		
投資有価証券	1,990	2,089
長期貸付金	1	1
繰延税金資産	0	0
その他	69	144
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,061	2,236
固定資産合計	12,161	12,526
資産合計	31,247	33,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,239	4,408
短期借入金	6,370	7,774
未払法人税等	58	50
賞与引当金	255	120
その他	2,968	2,679
流動負債合計	13,892	15,035
固定負債		
長期借入金	2,465	1,866
繰延税金負債	302	397
退職給付に係る負債	478	458
その他	323	297
固定負債合計	3,570	3,020
負債合計	17,463	18,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	7,308	7,565
自己株式	△55	△98
株主資本合計	9,858	10,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	757
繰延ヘッジ損益	△5	0
為替換算調整勘定	463	847
退職給付に係る調整累計額	38	34
その他の包括利益累計額合計	1,178	1,639
非支配株主持分	2,747	3,448
純資産合計	13,783	15,159
負債純資産合計	31,247	33,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	16,682	19,576
売上原価	14,661	16,904
売上総利益	2,021	2,672
販売費及び一般管理費	1,977	2,149
営業利益	43	522
営業外収益		
受取利息及び配当金	48	76
その他	55	50
営業外収益合計	104	127
営業外費用		
支払利息	94	110
その他	78	78
営業外費用合計	173	188
経常利益又は経常損失(△)	△24	461
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24	461
法人税、住民税及び事業税	33	70
法人税等調整額	20	69
法人税等合計	54	139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78	321
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△52	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	△25	289

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78	321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	75
繰延ヘッジ損益	1	6
為替換算調整勘定	450	752
退職給付に係る調整額	4	△3
その他の包括利益合計	401	830
四半期包括利益	322	1,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	154	751
非支配株主に係る四半期包括利益	167	400

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	13,902	—	—	13,902	—	13,902	—	13,902
環境エンジニアリング・環境	—	1,200	—	1,200	—	1,200	—	1,200
環境エンジニアリング・機械	—	665	—	665	—	665	—	665
機能材料	—	—	715	715	—	715	—	715
ソーラー	—	64	—	64	—	64	—	64
その他	116	—	—	116	18	134	—	134
顧客との契約から生じる収益	14,018	1,929	715	16,664	18	16,682	—	16,682
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,018	1,929	715	16,664	18	16,682	—	16,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	14,018	1,930	715	16,664	18	16,682	△0	16,682
セグメント利益又は損失(△)	25	50	21	97	△0	97	△121	△24

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△121百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社
管理部門にかかる費用が△136百万円、営業外収益が93百万円、営業外費用が△78百万円含まれてお
ります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	16,681	—	—	16,681	—	16,681	—	16,681
環境エンジニアリング・環境	—	1,122	—	1,122	—	1,122	—	1,122
環境エンジニアリング・機械	—	829	—	829	—	829	—	829
機能材料	—	—	750	750	—	750	—	750
ソーラー	—	67	—	67	—	67	—	67
その他	106	—	1	108	18	126	—	126
顧客との契約から生じる収益	16,787	2,019	751	19,558	18	19,576	—	19,576
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,787	2,019	751	19,558	18	19,576	—	19,576
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	16,787	2,019	751	19,559	18	19,577	△0	19,576
セグメント利益又は損失(△)	493	42	45	581	△0	581	△120	461

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△120百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△169百万円、営業外収益が127百万円、営業外費用が△78百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。